

帯域制御装置 仕様書

1. 件名 帯域制御装置 一式

2. 目的

本学では新型コロナウイルス感染拡大に伴い「遠隔授業等の活用に関するガイドライン」を制定、「令和3年度後学期の各授業科目の実施方法について（通知）」等で、遠隔授業を中心とし、対面授業の実施が必要な場合は、感染拡大防止の措置を十分に講じた上で実施することとし、学生の遠隔講義の実施や教職員のリモートワークが継続している。

現在のネットワークシステムは、2015年10月のキャンパス情報システムで導入した機材を買取ったうえで利用している。その為、大学内外のアクセス増加に対し、通信可視化や帯域制御等セキュリティ機能が十分に対応できない状況である。このような状況の中で、教職員・学生に対する「講義・実習等の遠隔講義」や「リモートワーク」の実施に対応するために、帯域制御装置を導入し、更なるセキュリティ強化を図る必要がある。

3. 要求要件

- ・ライセンス追加により、200Gbps以上の帯域制御（スループット）が可能なこと。
- ・アプリケーションのトラフィックの可視化が行えること。
- ・P2Pアプリケーションの帯域制御が行えること。
- ・3Gbps以上のトラフィックをリアルタイム可視化(遅延 30 秒以内)できること。
- ・ドリルダウン機能を使ったトラフィック解析が行えること。
- ・10Gbps インターフェース(10G-BaseX)が 20 ポート以上あり、100Gbps インターフェースを 2 ポート以上拡張できること。10GBase-SR モジュールを 4 個用意すること。

4. 内訳 Allot 社

SG-HW-9700-C-AC (本体)	1 台
SG-9500-AC-CABLE (ケーブル)	2 本
SG-TRANSCE-10G-SR (SG single 10GE Fiber SR interface)	4個
SG-9700-FC (Visibility&Control + 1G)	1ライセンス
RT-BW-1G (1G RT Reporting for Visibility&Control)	3ライセンス
TM-BW-1G (1G Throughput for Visibility&Control)	2ライセンス

5. 内容

- ・納品場所は、情報基盤統括センターとする。
- ・納期は、2022年3月31日とし、4月1日より稼働すること。
- ・帯域制御装置一式は、買取とする。
- ・導入初年度の保守は、2022年4月1日から2023年3月31日とし、本調達に含む。
令和5年度以降の保守は、毎年1年更新とする。
- ・平日(土日祝日年末年始を除く)の午前9時から午後5時において、ハードウェア故障、障害への修理センドバックの受付対応を実施すること。
- ・保守期間中においては、最新のファームウェアを提供すること。
- ・対象機器の保守期間においては、月1回の定期点検を行うこと。
- ・一次切り分けおよび設定復元、障害機器の交換は本学担当者が実施する。
- ・本装置に関して、本学からの質問や問い合わせに対し、電話・FAX・電子メールによる問い合わせ窓口を有し、適切に対応すること。
- ・送料は発送元負担とする。

以上